

創成川公園の整備

自治体情報 北海道札幌市

人口 / 1,897,333人 標準財政規模 / 428,217百万円

担当課 環境局みどりの推進部みどりの管理課計画係

電話番号 直通 011-211-2525

実施主体 札幌市

関連ホームページ <http://www.sapporo-park.or.jp/sousei/>

事業期間 平成20年度から平成22年度まで

関係施策分類 ②、④

予算関連データ

総事業費：1,100,000千円

名称	所管	金額(千円)
社会資本整備総合交付金	国土交通省	500,000
一般公共事業債	総務省	500,000
一般財源	—	100,000

施策のポイント

札幌市中心部を南北に流れる創成川とその両側8車線の創成川通は、市街地を分断していた。当施策により川寄りの4車線(片側2車線づつ)をアンダーパス化し地上部に公園と東西をつなぐ道路を整備することで、東西の市街地をつないだ。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

札幌市では、少子高齢化の加速と厳しい財政状況を鑑み、「コンパクトシティの推進」と「都心の再生」などをまちづくりの柱に据え、創成川通のアンダーパス連続化と親水緑地空間整備により、都心部に交通とみどりの骨格軸を整備することとした。

2. 取組の具体的内容

既存の2つのアンダーパスの連続化により、都心交通の正常化、円滑化を図った。また、連続化により創出された地上部には、東西をつなぐ道路と都心部において貴重な水と緑に親しめる公園が整備された。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・市の中心部を南北に走る車両の円滑化、交通事故の減少
- ・公園でのイベント実施など、地域振興に資する活動の創出
- ・創成川以東の商業地の活性化などによる市街地の広がり

4. 現在までの実績・成果

- ・創成川通の通過車両の平均速度が向上した(2003年:17.1km/h→2009年32.1km/h)
- ・開園後、地域の祭りやビアガーデン、河川での環境学習、札幌まちづくりの歴史やアートツアーなど、各種イベントや活動が行われるようになった。
- ・公園の周辺に新しい店がオープンしたり、通行する市民、観光客が増えた。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

都心部での新たな公園整備だったため、施設の仕様、内容等について、調整を必要とする関係者が多く、合意を得る作業が難しかった。地域の事業者や町内会などの団体と市で構成する地域協議会を設置し、地域意見のとりまとめや調整を担ってもらった。

6. 今後の課題と展開

公園整備後、市や指定管理者の呼びかけによって、市民ボランティアによる管理や各種イベントや活動が行われるようになった。今後、こうした活動が市民活動として自立し、より活性化することを期待し、必要な行政支援を行っていく。